

# Recruiter の検索フィルター機能

## 高度な検索フィルターを使用

高度な検索フィルターを使用すると、検索結果をさらに絞り込みます。高度なフィルターにアクセスするには、[詳細検索] リンクをクリックします。

検索履歴

次の結果を表示中:

カスタムフィルター

スポットライト

+ エンゲージメントが高くなります

役職

Business Analyst

Sales Manager +

+ アナリスト、

次をみる: 現在または過去

場所

サンフランシスコベイエリア

ニューヨーク都市エリア +

+ グレーターボストン (78,915)、

次をみる: 現在

スキル

Enterprise Software Management

Business Development +

+ 事業分析 (42,804)、

次をみる: すべてのスキル

会社

+ 会社またはブーリアン

+ IBM、+ Google、+ Amazon、

学校

+ 出身校

+ University of Phoenix (3,009)、

卒業年

+ 卒業年を追加

業種

+ 候補者の業種

+ IT・情報サービス (27,218)、

キーワード

+ キーワードまたはブーリアン

雇用形態

+ 希望する雇用形態

詳細検索

候補者情報にアクセス

+ 郵便番号

+ 名字

+ プロフィール言語

+ 名前

+ 最近のLinkedIn加入者

+ つながりのレベルで絞り込み

学歴と職歴

+ 経験年数

+ 専攻分野

+ 現企業勤続年数

+ 学位

+ 現ポジション年数

+ 職務レベル

+ アメリカ復員軍人

会社

+ 現在の勤務先

+ 会社規模

+ 以前の勤務先

+ 会社フォロワー

+ 会社タイプ

+ 職務タイプ

採用と候補者アクティビティ

+ 採用アクティビティ

+ 候補者ソース

+ すべてのグループ

閲覧済みを表示

## 検索フィルター機能

採用担当者検索フィルターを使用すると複雑なクエリーを作成できますが、希望通りの結果を得るためには検索フィルターをどのように組み合わせれば効果的かを理解することが重要です。検索フィルターは、以下に示すように AND、OR、NOT 演算子が暗黙的に設定されたブーリアン論理を使用して動作します。

[検索履歴] を表示できます。

[カスタムフィルター] ドロップダウンをクリックすると、カスタムフィルターを選択、保存、または削除できます。

複数のフィルターの間には、AND コマンドが暗黙的に設定されています。

除外された条件は赤で表示されます。条件を再び検索に追加するには、カーソルをその条件に合わせて [Ø] ボタンを再びクリックします。

一部の検索フィルターでは、ブーリアンテキストコマンドがサポートされています。詳細は、以下に記載します。

The screenshot shows the LinkedIn search filter interface. At the top, there is a '検索履歴' (Search History) section with a clock icon. Below it, a dropdown menu for 'カスタムフィルター' (Custom Filter) is open, showing several filter categories: 'スポットライト' (Spotlight), '役職' (Job Title), '場所' (Location), 'スキル' (Skills), and '会社' (Company). Each category has a 'クリア' (Clear) button. The '役職' category is expanded, showing 'Business Analyst' and 'Sales Manager' with a plus sign, and a search input field containing '+アナリスト,'. The '場所' category is also expanded, showing 'サンフランシスコベイエリア' and 'ニューヨーク都市エリア' with a plus sign, and a search input field containing '+グレーターポストン(78,915),'. The 'スキル' category is expanded, showing 'Enterprise Software' and 'Business Development' with a plus sign, and a search input field containing '+事業分析(42,804),'. The '会社' category is expanded, showing a search input field containing '会社またはブーリアンを入力...', and a list of company names: IBM, Google, Amazon, Oracle, Accenture, and Microsoft. Annotations with orange lines point to various elements: the search history icon, the clear button for the 'Spotlight' filter, the 'Custom Filter' dropdown, the 'Clear' button for the 'Job Title' filter, the 'Business Analyst' and 'Sales Manager' filter items, the 'AND' command between filters, the 'Clear' button for the 'Location' filter, the 'Enterprise Software' filter item, the 'Ø' button next to 'Enterprise Software', the 'Clear' button for the 'Skills' filter, the search input field for the 'Company' filter, and the company names in the list.

[ごみ箱] アイコンをクリックすると、検索をクリアできます。[ブックマーク] アイコンをクリックすると、検索を保存できます。

フィルター内の複数の検索条件の間には、OR コマンドが暗黙的に設定されています。

条件にカーソルを合わせて [X] をクリックするとその条件が削除されます。あるいは、[Ø] をクリックするとその条件が「NOT」コマンドで検索から除外されます。

各フィルターの検索を変更すると、動的にスマート提案が表示されます。提案をクリックして検索に追加するか、フィルター内の先行入力を使用して特定の条件を見つけます。

## 詳細検索フィルターの定義

フィルター名	定義と使用時のヒント
すべてのグループ	LinkedInメンバーは、自分の業界および組織の他のメンバー、または同じ関心を持つ人々とつながるためにグループに参加します。 <b>[すべてのグループ]</b> フィルターを使用して、特定のLinkedInグループのメンバーである、見込みのある候補者を探せます。
応募者	<b>[応募者]</b> フィルターを使用して、貴社の求人に応募したことのある人物のみが表示されるよう、結果を絞り込めます。デフォルトでは、LinkedIn経由で求人に応募した候補者を絞り込めます。ATSに対応したCross System Awarenessを導入しているお客様は、ATS内に存在する候補者に絞り込んだり、 <b>[Ø]</b> 記号を使用してすでにATS内に存在する候補者を除外したりすることもできます。
候補者ソース	ソースは、管理者によって事前に定義されています（例: ネットワーキング、紹介、メールなど）。 <b>[ソース]</b> フィールドは、採用担当者のプロフィールに表示されます。チームは、見込みのある候補者にどこで出会ったか、どのようにして知り合ったかを知るためにこのフィールドを利用します。 <b>[候補者ソース]</b> フィルターを使用して、プロフィールに追加されたソースに基づいてパイプラインの人材を検索できます。
会社	<b>[会社]</b> フィルターを使用して、メンバープロフィールの <b>[職歴]</b> セクションの <b>[会社名]</b> フィールドに基づいてデータを検索できます。 <b>[会社]</b> フィルターを使用して、特定の企業で勤務する、または勤務していた見込みのある候補者を検索できます。
会社フォロワー	<b>[会社フォロワー]</b> フィルターを使用して、LinkedInで自社をフォローしている候補者を検索できます。フォロワーはすでに貴社のブランドを認知しており、InMailメッセージに返信する可能性が倍増します。LinkedInの調査によると、メンバーの <b>76%</b> がフォローしている企業で働くことに関心を抱いています。
会社規模	<b>[会社規模]</b> フィルターを使用して、自営業から社員数1万人を超す企業など、さまざまな規模の企業で働いている候補者を検索できます。企業規模は、メンバーのプロフィールにある <b>[職歴]</b> セクションの最近の雇用主の規模に基づいています。

フィルター名	定義と使用時のヒント
会社タイプ	<p>[会社タイプ] フィルターは、候補者が勤務している会社のタイプを示しています。例えば、公共、民間、非営利、教育、政府、パートナーシップ、または自営会社などのタイプがあります。企業のタイプは、メンバーのプロフィールにある [職歴] セクションの最近の雇用主のタイプに基づいています。</p>
現在の勤務先	<p>[現在の勤務先] フィルターを使用して、特定の企業で現在働いている候補者を検索できます。また、このフィルターでは、ブーリアンテキストコマンドを使用して、特定の企業で働いている候補者を除外することもできます。</p>
カスタムフィールドのフィルター	<p>カスタムフィールドは管理者によって定義され、[採用ツール] の採用担当者プロフィールに表示されます。カスタムフィールドは、貴社のニーズ固有の情報を追跡するために役立ちます (例:開始日、希望年俸、転居の意思、セキュリティクリアランスなど)。</p> <p>契約でカスタムフィールドが有効になっている場合は、プロフィールに追加した特定のカスタムフィールドデータに基づいてパイプラインの候補者を絞り込みます。</p>
学位	<p>[学位] フィルターを使用して、特定の学位 (文学修士、理学修士、または教育修士、文学士または理学士、短期大学士、または高卒など) を持つ候補者を検索できます。これらは特定の専攻ではなく一般的な学位タイプです。例えば、化学工学の修士号を持つ候補者が必要な場合には、以下の [学位] フィルターで[修士号]、[専攻] フィルターで[化学工学] を選択します。</p>
雇用形態	<p>[雇用形態] フィルターを使用して、正社員、パートタイム、契約社員、インターンなど、特定の雇用形態に関心のある候補者をすばやく検索できます。</p>
専攻	<p>[専攻] フィルターは、候補者がプロフィールの [学歴] セクションに入力した専攻とリンクしています。これは学士や修士など実際の学位ではなく、コンピューターサイエンスやマーケティングなど候補者の専攻です。</p>
名前	<p>[名前] フィルターは、イベントで出会った人物を探す場合や、名前以外に勤務先などごくわずかな身元確認情報しか記憶していない場合に便利です。フィルターを組み合わせて使うことで、この候補者を検索できます。</p>

フィルター名	定義と使用時のヒント
閲覧済み为非表示	<p>[<b>閲覧済み为非表示</b>] フィルターを使用して、以前にクリックして閲覧したことのあるプロフィールを非表示にすることにより、新しい結果に集中できます。このフィルターは、保存済みの検索を再実行する場合など、多くの候補者がすでに閲覧および見送り済みであるため基準に一致する新しい候補者のみレビューしたい場合に便利です。期間を調整することで、過去3～6ヵ月間に閲覧したプロフィールを除外できます。このフィルターでは、チームメイトではなく自分自身がすでに閲覧した候補者のみが除外されます。</p>
業種	<p>[<b>業種</b>] フィルターは、候補者がプロフィールの [<b>業種</b>] セクションで選択した業種に基づきます。メンバーは業種を自分で選択しますが、その業種は必ずしもスキルまたはポジションを反映していないということを認識しておくことが重要です。例えば、医療産業で働いているデータベースアナリストが業種としてコンピューターサービスを選択することもあり、その場合に医療産業のみで候補者を絞り込んだ場合には、この人物は除外されます。</p>
職務タイプ	<p>[<b>職務タイプ</b>] フィルターは、メンバーが役職として挙げたものによって決定されます。LinkedInでは、役職を標準の職務タイプに分類しています。職務タイプは、現在のすべてのポジションに基づいて決定されます。例えば、1人のメンバーがXYZデザイン会社のデザイナーと所有者の両方に分類されていることがあります。[<b>職務タイプ</b>] フィルターに [<b>アート/デザイン</b>] または [<b>起業</b>] (所有者) のいずれかが含まれている場合、このメンバーのプロフィールが検索されます。</p>
役職	<p>[<b>役職</b>] フィルターは、メンバーがプロフィールの [<b>職歴</b>] セクションに追加した役職に基づきます。ドロップダウンを使用して、現在または過去にその役職を所有していることを条件とするかどうかを選択します。</p>
キーワード	<p>フィルターの組み合わせと [<b>キーワード</b>] を使用することによって、検索結果をさらに絞り込むことができます。キーワードフィルターでは、ブーリアン検索文字列の入力および編集、およびプロフィールページ全体からのデータに基づくデータ検索が可能です。他のフィルターでカバーされていない基準がある場合には、ここに入力できます。</p>

フィルター名	定義と使用時のヒント
名字	[名字] フィルターは、イベントで出会った人物を探す場合や、名字の他に勤務先などごくわずかな身元確認情報しか記憶していない場合に便利です。フィルターを組み合わせて使うことで、この候補者を検索できます。
場所	[場所] フィルターでは、国 (例: 米国)、首都圏 (例: グレーターニューヨークエリア)、および世界のほとんどの国の都市 (例: ブルックリン、ニューヨーク) など、地理的地域に基づいてフィルタリングできます。[場所] フィルターの使用時、現在その地域に居住している人物を検索したり、その地域への転居に関心を示している人物を検索に含めたり、自社のある地域への転居を厭わない候補者に検索を制限したりすることができます。
アメリカ復員軍人	[アメリカ復員軍人] フィルターを使用して、LinkedInプロフィールデータに基づいて、米軍での軍役経験を持つ候補者をすばやく検索できます。220万を超すLinkedInメンバーが米軍での軍役経験を持っています。復員軍人はLinkedInのパワーユーザーであり、復員後のキャリアを探す最も優れたソースとしてネットワークキングを挙げています。復員軍人は軍役経験のない人々よりも平均で26%多くのつながりを持ち、28%多くの会社ページをフォローし、InMailを受け入れる可能性が25%高くなっています。
あなたのグループ	[あなたのグループ] フィルターを使用して、あなたと同じLinkedInグループのメンバーを検索できます。
つながりのレベルで絞り込み	[つながりのレベルで絞り込み] フィルターを使用して、検索結果をあなたとつながりのある候補者に絞り込みます。1次または2次のつながり、グループメンバー、または1次・2次を除くすべてのメンバーを絞り込みます。
メモを検索	[採用ツール] を使用して、プロフィールにメモを追加できます。例えば、給与に関する要件をメモとして追加できます。[メモを検索] フィルターに語句を入力して、これらの語句を含むメモを持っている候補者プロフィールを検索できます。
以前の勤務先	[以前の勤務先] フィルターを使用して、以前に特定の企業で働いた経験を持つ候補者を検索できます。この機能は、過去にあなたの企業で働いたことのある候補者を検索する場合や、特定の企業で働いた経験を持つ候補者をターゲットとしたい場合などに便利です。

フィルター名	定義と使用時のヒント
郵便番号	<p>特定の都市からの距離に基づいて候補者を絞り込むには、<b>[郵便番号]</b> フィルターを使用します。例えば、小さい町から25マイル以内在住の候補者を検索する必要がある場合、<b>[場所]</b> フィルターではそのエリアが認識されないことがあります。これは、その町が十分な大きさの都市部でないので場所の結果に含まれないためです。郵便番号を入力して、ドロップダウンから半径を選択します (その郵便番号からxマイル)。</p> <p>また、<b>[すべての場所]</b> ドロップダウンを使用して、国を基準に絞り込むこともできます。</p>
プロフィール言語	<p><b>[プロフィール言語]</b> フィルターを使用して、メンバーのプロフィールが書かれている言語に基づいて結果を絞り込めます。これは、<b>[言語]</b> フィルターとは異なります。プロフィールは1つの言語のみで作成できますが、メンバーはプロフィールの <b>[言語]</b> セクションで複数の言語およびそのレベルを追加できます。</p>
プロジェクトを検索	<p><b>[プロジェクトを検索]</b> フィルターを使用して、すでにプロジェクトに保存されている候補者のみに検索結果を絞り込むことができます。</p>
プロジェクトステータス	<p>候補者をプロジェクトに追加すると、管理者によって定義された <b>新規</b>、<b>連絡済み</b>、<b>返信済み</b>、<b>アーカイブ済み</b>、または <b>カスタムのいずれかのステータス</b> が付与されます。<b>[プロジェクトステータス]</b> フィルターを使用して、それらのステータスに一致する候補者を検索できます。</p>
最近のLinkedIn加入者	<p><b>[最近のLinkedIn加入者]</b> フィルターを使用して、最近3ヵ月以内にLinkedInに登録した候補者に結果を絞り込むことができます。1~3ヵ月のカテゴリーから選択できます。これにより新しい仕事を探すために最近登録した可能性が高い、アクティブな候補者が見つかります。</p>

フィルター名	定義と使用時のヒント
採用アクティビティ	<p>[採用アクティビティ] フィルターを使用して、あなたのチームの採用アクティビティを実行したことがある、または実行したことがない人物に絞り込みます。[有]を選択し、1つ以上のアクティビティタイプをクリックすると、あなたのチームがこれらのアクティビティを行ったことのある人物が表示されます。[無し]をクリックすると、あなたのチームのアクティビティを受けたことのない人物に絞り込みます。</p> <p>フィルターの右側にある期間ドロップダウンを使用して、アクティビティの実施時期を選択できます。</p>
リマインダーを検索	<p>[リマインダーを検索] フィルターを使用して、特定の候補者の [リマインダー] に追加された語句に基づいて検索結果を絞り込むことができます。例えば、3月にプロジェクトが終わることが判明した候補者が何人かいた場合、それぞれの候補者を3月にフォローアップするためのリマインダーを設定します。[リマインダーを検索] フィルターに「3月」と入力すると、これらの候補者が表示されます。</p>
評価を検索	<p>プロフィールを採用責任者にシェアすると、採用責任者は評価を行い、レビューメモを追加できます。[評価を検索] フィルターにキーワードを入力して、採用責任者の評価基準に特定の語句が記載されている候補者を見つけられます。</p>
学校	<p>候補者の [学校] を基準に絞り込みます。学校名を入力するか、学校のリストから選択できます。このフィルターは、メンバーのプロフィールの [学歴] セクションに入力された学校に基づきます。</p>
職務レベル	<p>[職務レベル] フィルターは、現在の会社でメンバーが担っているポジションレベルによって決定されます(エントリー、シニア、経営者、ディレクター、ボランティアなど)。職務レベルカテゴリーは、役職から導出されます。</p>
スキル	<p>[スキル] フィルターでは、スキルを入力するか、入力した役職に必要とされる一般的なスキルのリストからスキルを選択できます。このフィルターを使用して、候補者がプロフィールの [スキル] セクションに明示的に入力したスキル、およびプロフィールの中でスキルが入力されていることの多いセクションに含まれているキーワードを検索できます。</p>



フィルター名	定義と使用時のヒント
言語	<p>[言語] フィルターを使用して、仕事に必要な言語を話す候補者をすばやく見つけられます。候補者が話す言語およびそのレベルに基づいて検索を絞り込めます。このフィルターは、メンバーがプロフィールに入力した言語に基づきます。</p> <p>複数の言語を選択した場合、それらはORブーリアン演算子で処理されます。言語レベルは、選択したすべての言語に適用されます。</p>
スポットライト	<p>[スポットライト] フィルターを使用して、LinkedInから取得した関係および活動情報に基づいて自分および組織と最もかかわりの多い候補者を優先できます。</p>
タグを検索	<p>タグは、候補者が持つ特定の属性またはスキルをハイライトするために、自分またはチームが追加します。タグを追加することで、特定のスキルまたは職歴、候補リードが適合しそうな仕事、または属性(「転居の意思」など)を識別できます。タグを使用することで、候補リードのオーナーシップを示したり、検索を絞り込んだり、2次データポイントとして使用したり(ソース情報と組み合わせる場合)できます。タグは、プロフィールには必ずしも現れない事柄を反映できます。例えば、<i>転居の意思</i>や<i>スペイン語に堪能</i>などです。[タグを検索] フィルターを使用することで、メンバーのプロフィールに追加されたこれらのタグに基づいて結果を絞り込むことができます。</p>
卒業年	<p>[卒業年] フィルターを使用して、卒業年のみに基づいて候補者を検索できます。このフィルターは、メンバーのプロフィールの [学歴] セクションに入力された各学校の終了日に基づきます。</p>
現企業勤続年数	<p>[現企業勤続年数] フィルターは、プロフィールに入力されている現在の会社での勤務開始日に基づいて、候補者が現在の会社で何年働いているかを示します。</p>
現ポジション年数	<p>[現ポジション年数] フィルターは、プロフィールに入力されている現在のポジションへの着任開始日に基づいて、候補者が現在のポジションで何年働いているかを示します。</p>
社会人経験年数	<p>[社会人経験年数] フィルターでは、LinkedInプロフィールに基づいて、業種または会社とは関係なく候補者の職務経験年数が考慮されます。これは、プロフィールの [職歴] セクションに入力した最初のポジションの開始日から計算されます。</p>